

平成23年 10月

各 位

日本のモノづくりが危ない！「安心・安全」「高品質」な製品提供のための

「縫製と外観検査のポイント」研修講座ご案内

平成23年度後期

日本のモノづくりが危ない。永年にわたって培ってきた安心・安全をモットーに高品質な繊維製品を造り続けてきた我国繊維業界の基盤が、脆くも崩れつつあります。東日本大震災に伴う原発事故は、すべての「安全神話」を吹き飛ばし、この先、長くその影響は尾を引きそうです。一度壊れた製品イメージを回復するには相当の時間を要します。それ故、これからの製品には、いままで以上に安全はもとより高い品質、高い機能が求められることとなります。そのためには海外生産・流通の比重が高まっている今日、経営環境の激変を踏まえて、企画、発注の段階から素材特性や品質機能、さらには品質表示規程等の法令遵守に至るまでの知識の習得は必須の要件といえます。

本研修講座はすでに長年の実績を重ね、時々の要請に応えるため講座内容をその都度見直し、拡充してまいりました。今回も4講座を開講します。「繊維と品質機能」では衣料品の性能を決定する素材生地特性について、「品質管理と法令(総合基礎)」ではコンプライアンスの視点から関係法令の詳細と試験・検査の概要等について解説します。さらに実践的講座として「布帛製品」「ニット製品」の2コースを設け、実技、実演等も織り込みながら布帛・ニット製品づくりの実際をビジュアルに展開します。なお、本講座はTES（繊維製品品質管理士）受験対策としても評価をいただいております。

本講座を通じて、企画、生産・品質管理、また販売や仕入れに携わる皆様の能力・業務向上に些か貢献できるものと確信いたしております。是非ともご参加くださいますようご案内申し上げます。

主催 東京織物卸商業組合

協力 公益財団法人日本繊維製品卸検査協会